

2012年3月期 第2四半期 決算説明

挑戦と進化、そして未来へ

2011年10月31日



MES

三井造船株式会社

第2四半期決算のポイント

1. 超円高下で期初予想を上回る利益を達成
2. 環境対応型新船型の受注を獲得

第2四半期決算のポイント

1. 超円高下で期初予想を上回る利益を達成

	10第2Q 実績	11第2Q 予想	11第2Q 実績	10年度 実績	11年度 予想
受注高	2,037		2,164	4,997	7,100
売上高	3,098	2,800	2,684	5,892	5,700
営業利益	245	110	129	389	280
経常利益	239	100	144	362	260
当期利益	115	50	72	135	150

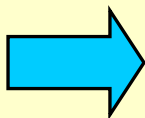
第2四半期決算のポイント

2. 環境対応型新船型の受注を獲得

- ・超円高継続
- ・海外との受注競争
- ・用船商談低迷
- ・需給ギャップ

厳しい
造船市況

環境対応船への指向



66BC 2隻受注



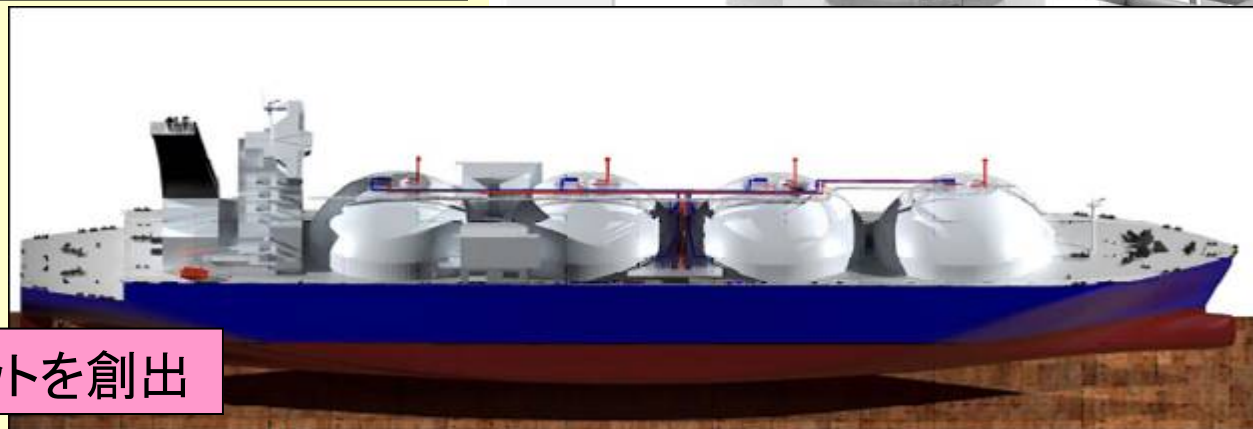
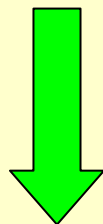
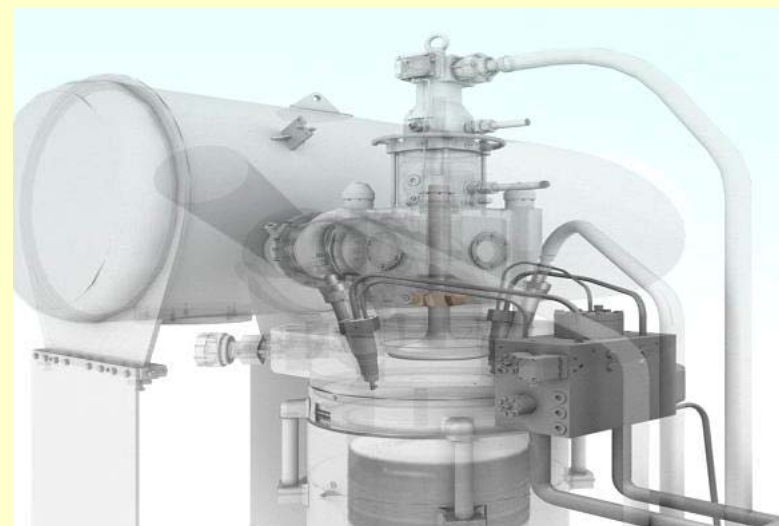
第2四半期決算のポイント

新型LNG船“Double Eco MAX”

燃料費・CO2の排出を30%削減して市場投入

ME-GIエンジンを搭載

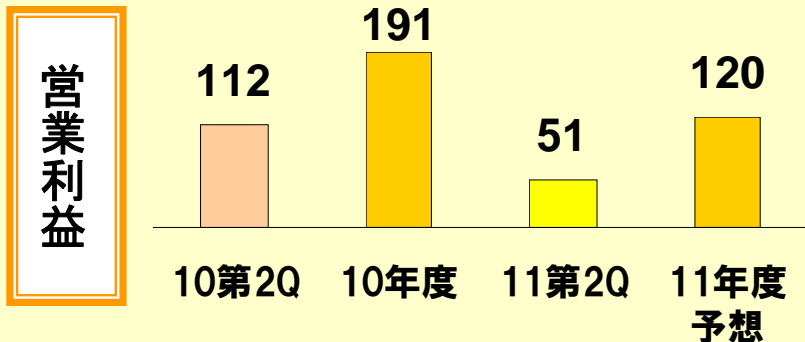
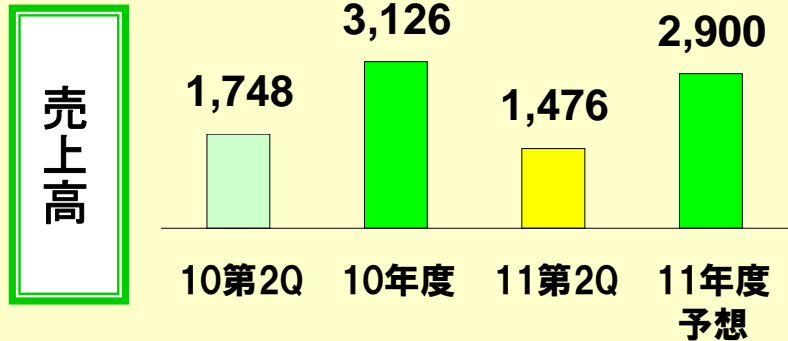
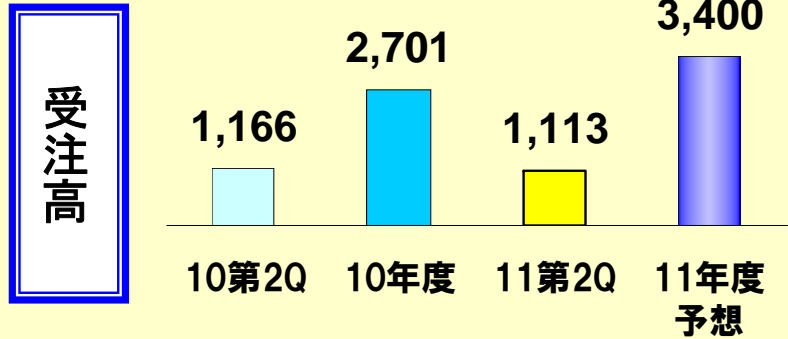
- ・ 使用燃料として
ガス専焼・重油専焼・ガス重油の
混焼が可能
- ・ 変化する燃料価格情勢に応じて、
最も経済的な燃料の選択が可能



運航上の経済的なメリットを創出

第2四半期 連結決算の概要—船舶部門

(単位：億円)



環境対応船を新規受注、 低迷市況打開へ前進

○受注高

- ・ CO2削減船 新船型66BC を受注、市況低迷下にあっても引合対応進む
- ・ 省エネ LNG船 の市場投入で、更なる受注機会の拡大を狙う
- ・ 三井海洋開発はFPSO関連工事の受注で貢献

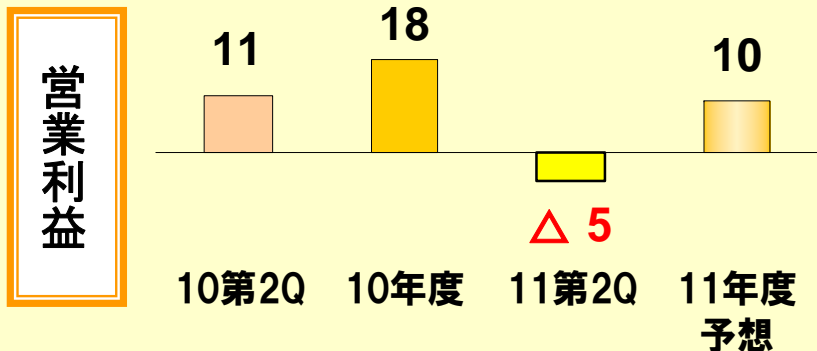
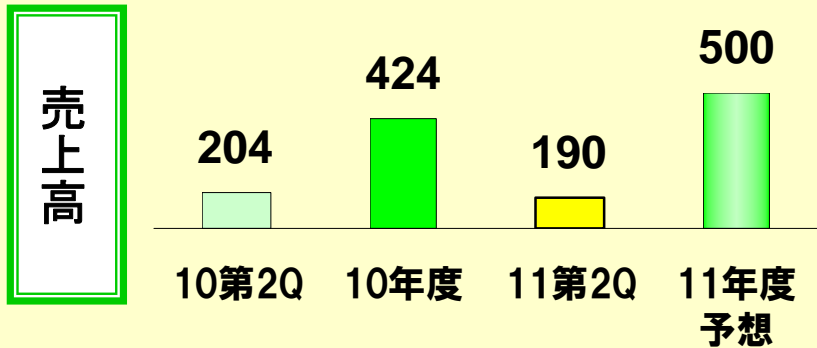
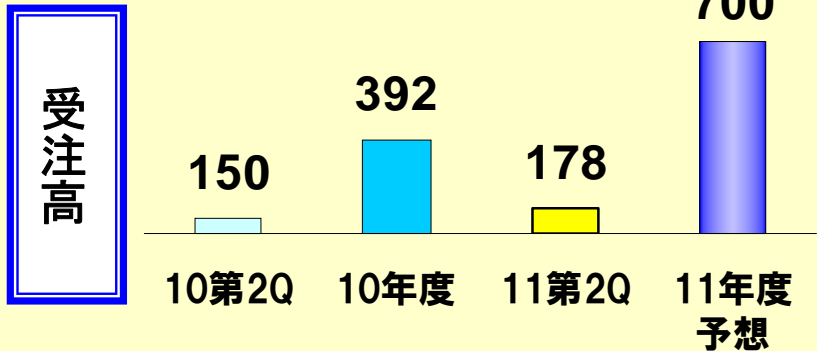
単体実績 (隻数)	10年度 第2Q		10年度 実績		11年度 第2Q	
	受注	引渡	受注	引渡	受注	引渡
56BC	5	10	15	21	3	10
66BC					2	-

○売上高／営業利益

- ・ 売上高は建造船が順調に進捗
- ・ 営業利益は超円高にあっても、51億円を確保

第2四半期 連結決算の概要—鉄構建設部門

(単位：億円)



受注競争の激化が加速するも 期末予想数値の確保を目指す

○受注高

- 国内公共事業は厳しい受注環境の中、震災、台風災害関連の復旧工事等を受注
- 東南アジアの発電所建設工事、社会インフラ整備工事の下期受注を見込む
- クレーン事業は引き合いが豊富で国内向けは順調に受注確保
海外向けは円高の影響にて苦戦するも、下期は東南アジア向け案件の受注を見込む

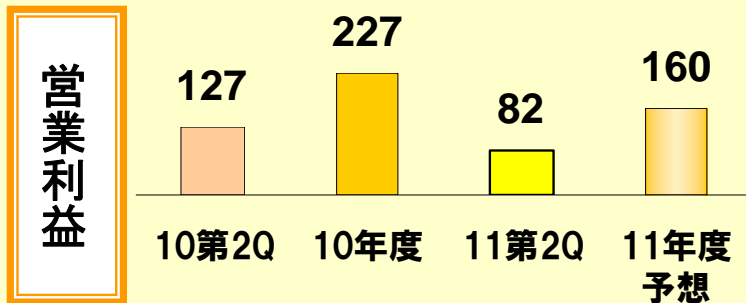
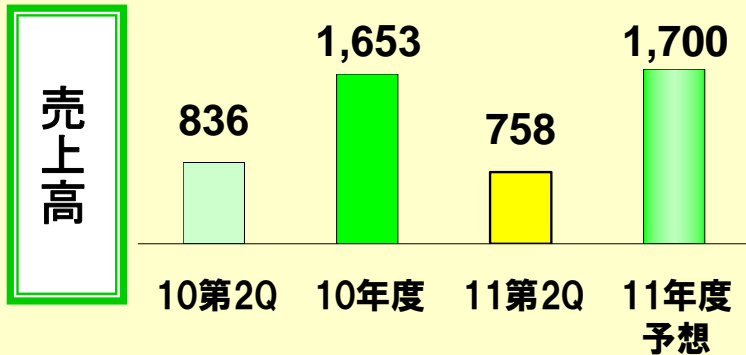
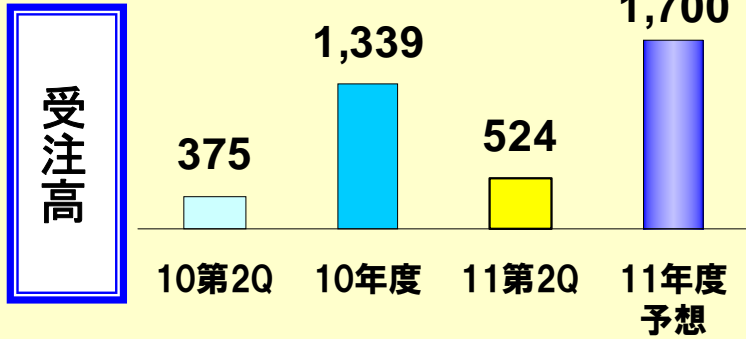
実績 (基数)	10年度第2Q		10年度実績		11年度第2Q	
	受注	引渡	受注	引渡	受注	引渡
ボーターナ	1	4	10	6	3	0
トランスターナ	6	0	23	8	28	7

○売上高／営業利益

- 第2四半期は前年同期比で減益となるも、コストのドル化加速で期末予想数値の確保を目指す

第2四半期 連結決算の概要—機械部門

(単位：億円)



厳しい受注環境の中でも 売上高は確保

○受注高

- ・ 船用ディーゼル事業は前年度並仕事量を予定付加価値高い電子制御 (ME) エンジンの比率増環境対応技術により受注拡大を目指す
- ・ 産業機械事業は、トルコでの大型案件受注に続き、中東・東南アジア等での引合い増加更なるコストダウンにより、受注拡大を目指す
- ・ 中国での誘導加熱装置生産開始、日系企業中心に受注好調

○売上高

- ・ 単体堅調により前年度並を見込む
(船用ディーゼル機関)

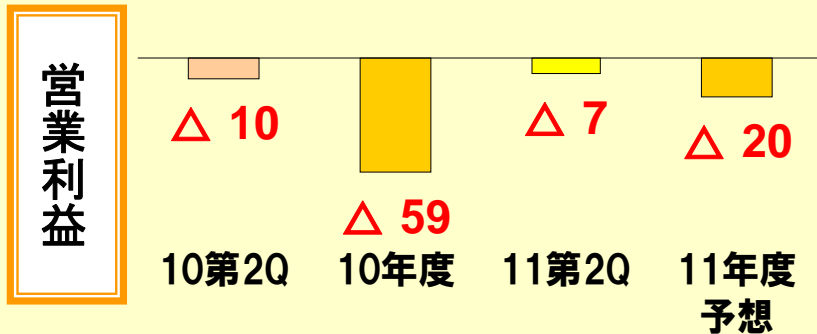
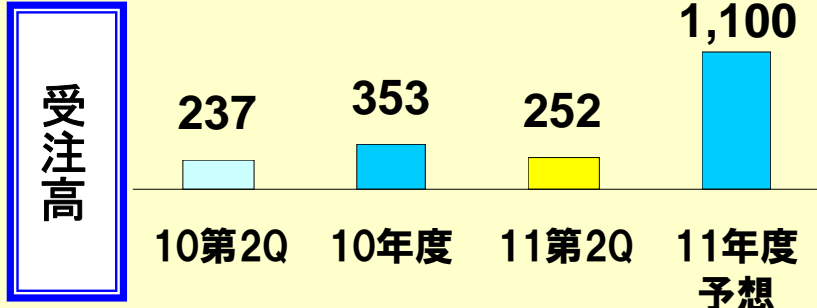
実績	10年度第2Q			10年度実績			11年度第2Q		
	受注	売上	受注残	受注	売上	受注残	受注	売上	受注残
基数	21	101	143	191	199	215	12	98	129

○営業利益

- ・ 円高にて価格厳しいが、コストダウンによりカバー単体主力事業は前年度並の利益水準を目指す

第2四半期 連結決算の概要—プラント部門

(単位：億円)



下期受注実現に総力を傾注

○受注高

- ・トルコ向案件をはじめ下期は海外大中型案件の受注を目指す
- ・FEED、PDP作成の受注が重なり、将来のEPC工事の受注に期待

*FEED : Front End Engineering Design

*PDP : Process Design Package

○売上高／営業利益

- ・早期受注による売上高の増加、営業利益の改善を図る

売上高 内訳 (億円)	10年度 第2Q	10年度 実績	11年度 第2Q
化学プラント分野	148	239	103
環境分野	58	234	59

バラスト水処理装置

バラスト水管理条約の発効は間近

30ヶ国以上が批准し合計船腹量が35%以上に達した12ヵ月後に発効。

⇒ 9月末で30ヶ国批准、合計船腹量26%

■ FineBallast® OZ

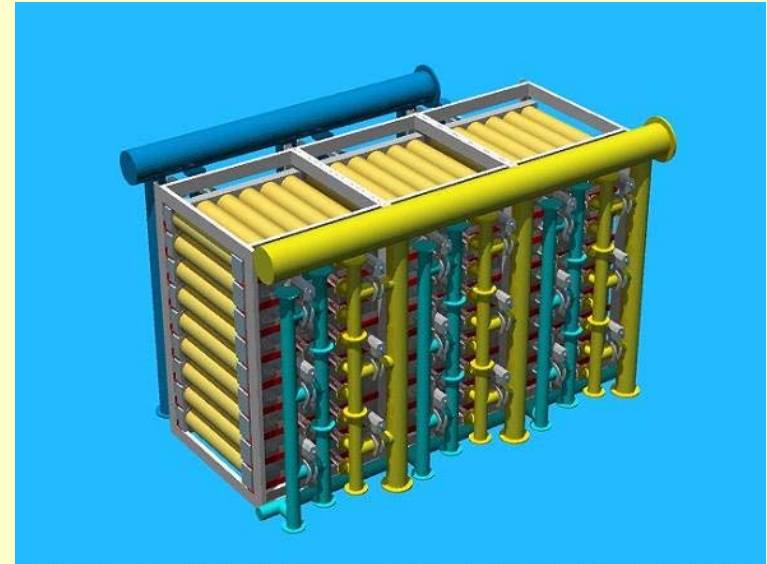
スペシャルパイプとオゾンを利用した装置の適合証明書を6月に取得し、市場投入を開始。

■ FineBallast® MF

膜方式による装置の型式承認を2011年度内に取得予定。

■ バラスト水事業グループを6月に設立

既存船への装置搭載事業を推進



次世代リチウムイオン電池正極材事業

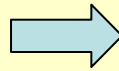


リン酸鉄リチウム

■ リン酸鉄リチウム正極材料の開発

リチウムイオン電池市場の拡大

- ・EV/PHEVの発売
- ・電力貯蔵ニーズ増加
- ・鉛電池代替

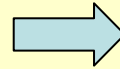


リチウムイオン電池への要求

- ・大型化、高エネルギー密度化
- ・利便性(充電速度向上等)
- ・安全と長寿命
- ・コストパフォーマンス向上

リン酸鉄リチウムの特長(従来品)

長所	急速充放電に優れる 安全性が高く長寿命 レアメタルフリー
短所	低導電性



さらに当社独自の技術を導入

- ・高エネルギー密度化
- ・導電性の改善
- ・コスト競争力のあるプロセス

■ 事業化計画

7月にワールドワイドの特許実施権を取得

12年度下期完成を目指し、千葉事業所に2,100トン/年の新工場建設着手

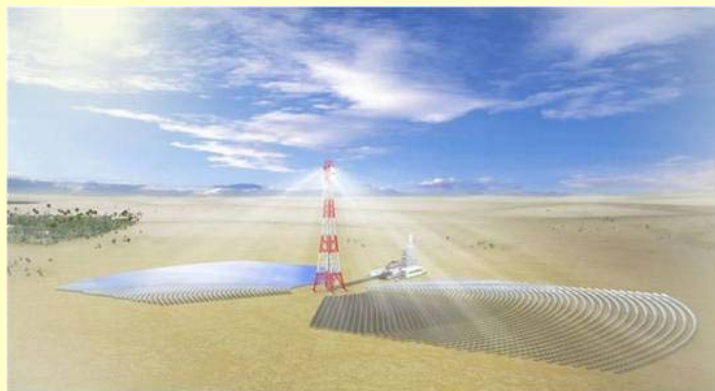
バイオエタノール製造事業



NGH事業



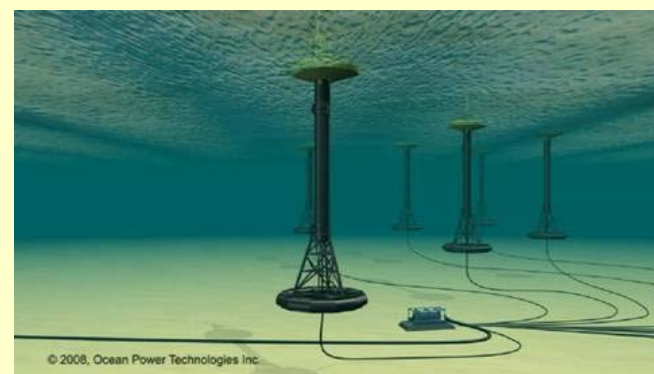
太陽熱発電



風力発電



波力発電



第2四半期 連結損益計算書(要約)

(単位：億円)

	10第2Q		11第2Q		増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	3,098	(100.0%)	2,684	(100.0%)	△ 414
売上原価	2,651		2,356		
売上総利益	447		328		
販売費及び一般管理費	202		200		
営業利益	245	(7.9%)	129	(4.8%)	△ 116
営業外収益	29		57		
営業外費用	35		41		
経常利益	239	(7.7%)	144	(5.4%)	△ 94
特別利益	0		1		
特別損失	41		15		
税引前利益	198	(6.4%)	130	(4.8%)	△ 68
法人税、住民税及び事業税	77		30		
法人税等調整額	△ 4		35		
少数株主利益	10		△ 8		
四半期純利益	115	(3.7%)	72	(2.7%)	△ 43

第2四半期 連結貸借対照表(要約)

(単位：億円)

	10年度末	11第2Q末	増減		10年度末	11第2Q末	増減
流動資産	(3,557)	(3,221)	(△336)	支払手形・買掛金	1,403	1,339	△ 65
現預金	517	555	38	前受金	609	563	△ 45
受取手形・売掛金	1,558	1,462	△ 96	有利子負債	1,720	1,519	△ 201
仕掛品	382	456	74	その他	1,193	1,136	△ 58
その他	1,101	748	△ 353	負債合計	(4,926)	(4,557)	(△368)
固定資産	(3,306)	(3,288)	(△18)	資本金・資本剰余金	626	626	0
有形固定資産	2,219	2,199	△ 20	利益剰余金	859	899	41
無形固定資産	121	126	5	自己株式	△ 7	△ 7	0
その他	966	963	△ 3	その他包括利益累計額	165	149	△ 16
				少数株主持分	294	284	△ 10
				純資産合計	(1,937)	(1,951)	(14)
合計	6,863	6,509	△ 355	合計	6,863	6,509	△ 355

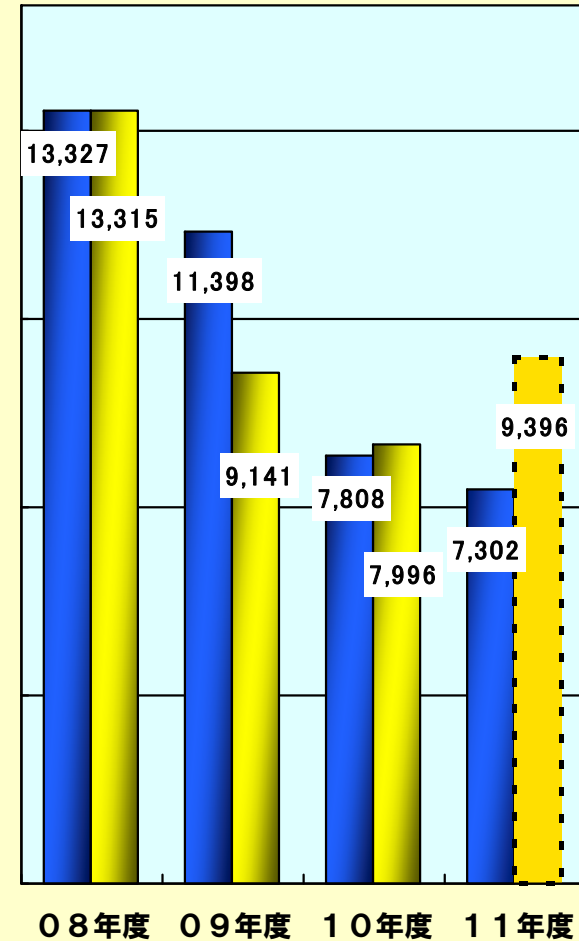
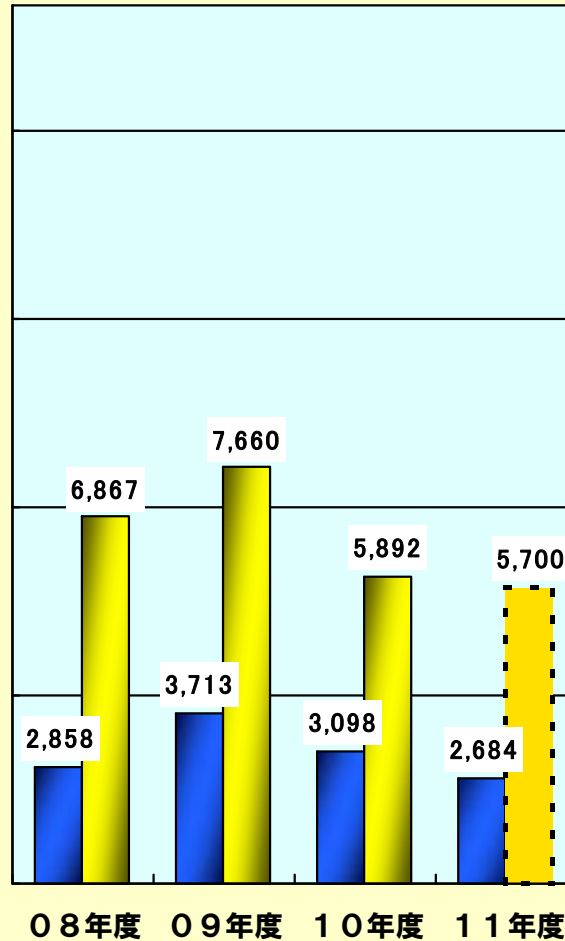
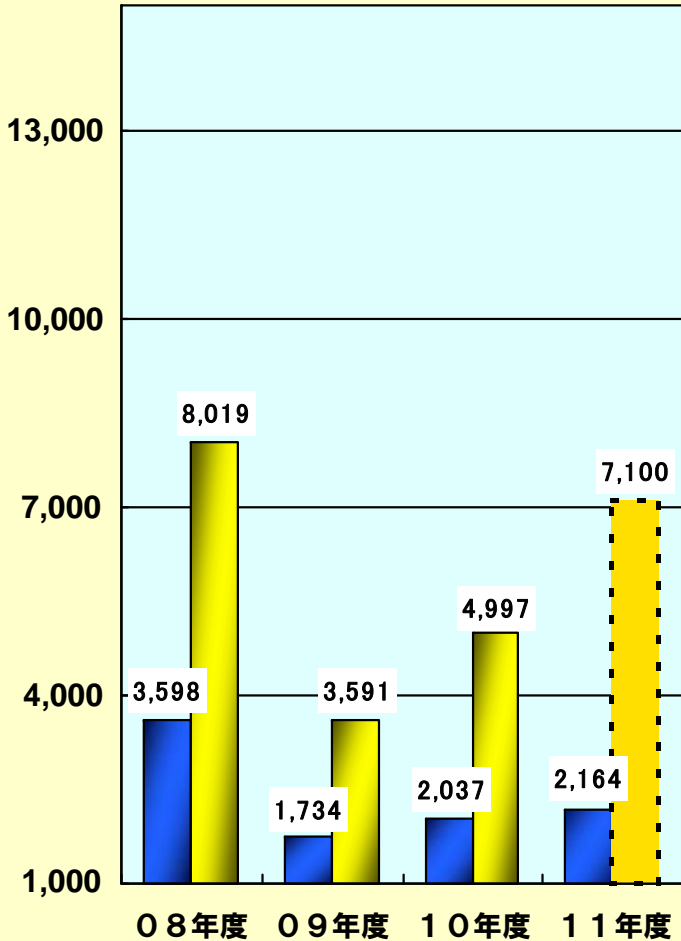
連結 受注高・売上高・受注残高推移

受注高

売上高

受注残高

(億円)



■ 第2Q ■ 通期

連結 受注高・売上高・営業利益の内訳

(単位：億円)

セグメント	10第2Q			11第2Q			11年度予想		
	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益
船舶	1,166	1,748	112	1,113	1,476	51	3,400	2,900	120
鉄構建設	150	204	11	178	190	△5	700	500	10
機械	375	836	127	524	758	82	1,700	1,700	160
プラント	237	206	△10	252	162	△7	1,100	400	△20
その他	108	104	4	98	97	6	200	200	10
合計	2,037	3,098	245	2,164	2,684	129	7,100	5,700	280

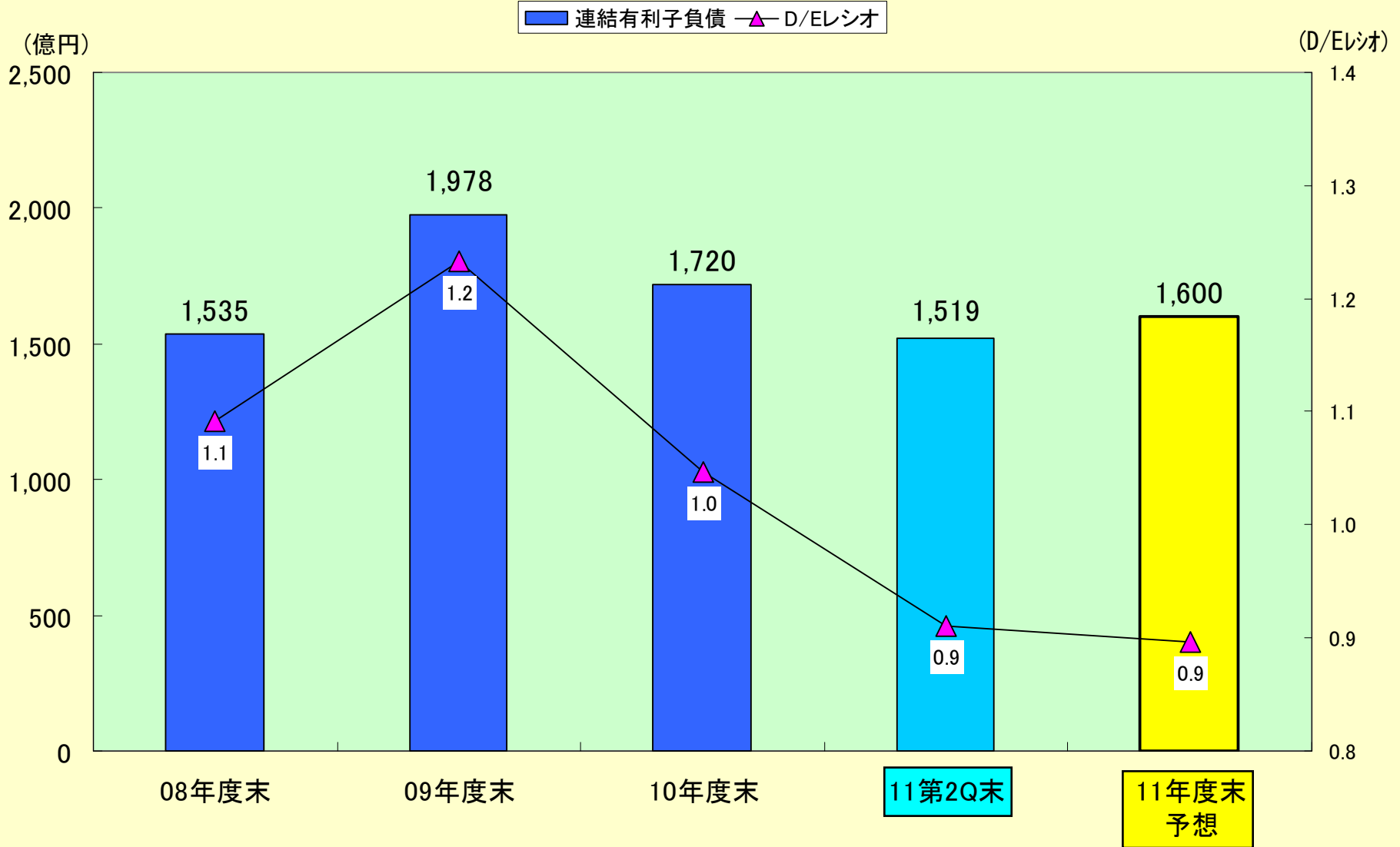
連結キャッシュフローの状況

(単位：億円)

摘 要	10第2Q 実績	11第2Q 実績	10年度 実績	11年度 予想
営業活動による キャッシュフロー	205	5	292	120
投資活動による キャッシュフロー	△199	59	△428	40
財務活動による キャッシュフロー	△252	△246	△65	△160
有利子負債	1,510	1,519	1,720	1,600

*有利子負債：リース債務を除く

連結有利子負債残高とD/Eレシオの推移



*有利子負債：リース債務を除く